

平成 26 年度 第 7 回 日本 NGO 連携無償資金協力  
「カンダール州における、障がい児のためのインクルーシブ教育推進事業」  
「学校環境改善のための校舎・衛生施設建設及び衛生教育支援事業」  
贈与契約署名式典  
隈丸 優次大使 スピーチ  
2015 年 3 月 9 日（月） 於：日本国大使館多目的ホール

特定非営利活動法人 難民を助ける会  
プノンペン事務所 現地駐在代表 そのだ 園田 ともこ 知子 様  
特定非営利活動法人 JHP 学校をつくる会  
プノンペン事務所 所長代理 やかべ 矢加部 さき 咲 様  
カンボジア教育・青年・スポーツ省初等教育局副局長  
タウン・ラッティ様  
カンダール州教育局長、プレイベン州コンポントラバエク郡教育局長  
ご列席の皆様

本日、日本 NGO 連携無償資金協力案件である、難民を助ける会の「カンダール州における、障がい児のためのインクルーシブ教育推進事業」及び JHP 学校をつくる会の「学校環境改善のための校舎・衛生施設建設及び衛生教育支援事業」の贈与契約署名式典を開催することができ大変喜ばしく思います。

難民を助ける会は、過去 20 年以上にわたりカンボジアにおいて職業訓練や車椅子の製造・配布など様々な障がい者支援活動を展開されてきました。2013 年からは学校のバリアフリー環境整備などインクルーシブ教育支援を中心に活動されています。

カンボジア教育・青少年・スポーツ省は、「Education For All 万人のための教育」の目標に沿った教育戦略計画において教員訓練を含む全就学レベルにおけるインクルーシブ教育の推進を課題に掲げており、特に障がい児の就学機会の提供は大きな課題となっています。

難民を助ける会が実施する事業では、学校内のバリアフリー整備を行い、約3,800人を対象に教員訓練や啓発活動を実施する予定で、カンダール州クサイカンダール郡の4小学校における障がい者の教育環境を改善し、障がい児童の就学率の向上に大きく貢献するものと期待しております。

また、JHP学校をつくる会においてもカンボジアで20年以上の活動実績があり、同国において建設した学校は300棟以上にのぼります。また、近年では音楽教育や美術教育、環境教育の推進事業も展開されています。

本事業を行うプレイベーン州コンポントラバエク郡の3小中学校では、教育施設や衛生設備などが不足し、適切な学習環境が保たれていない状態です。本事業ではそれぞれの学校に校舎を建設する共に、約1,300人の児童・生徒・教員を対象に衛生ワークショップを実施し、快適で安全な学習環境を整備し、就学率の向上が実現することを期待しております。

最後になりますが、日本NGO連携無償資金協力は日本のNGOが実施する草の根レベルに直接裨益する経済・社会開発事業に対して供与されるものです。本日署名した事業が対象地の人々に直接裨益し、また、行政関係者によるサポートの下、事業終了後もそれぞれの活動がより広く住民の方々に普及することを希望します。

ありがとうございました。